

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第10週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (10 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：梅毒 1 例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	結核性胸膜炎	発熱
			80歳代	女	結核性心膜炎	発熱
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 542 人(定点当たり 15.6)で、前週比 95%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

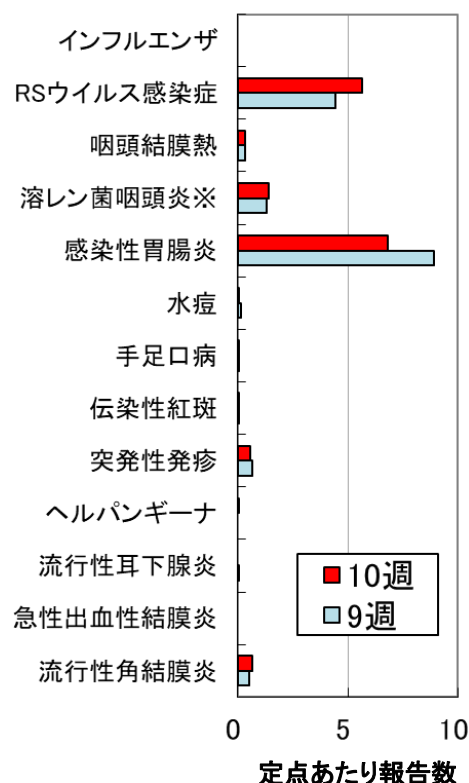
報告数は 204 人(5.7)で、前週比 128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.60)の約 9.5 倍であった。日南(14.3)、宮崎市(11.1)、中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 245 人(6.8)で、前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.7)の約 0.7 倍であった。都城(11.7)、小林(11.3)、高鍋(6.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約4割を占めた。

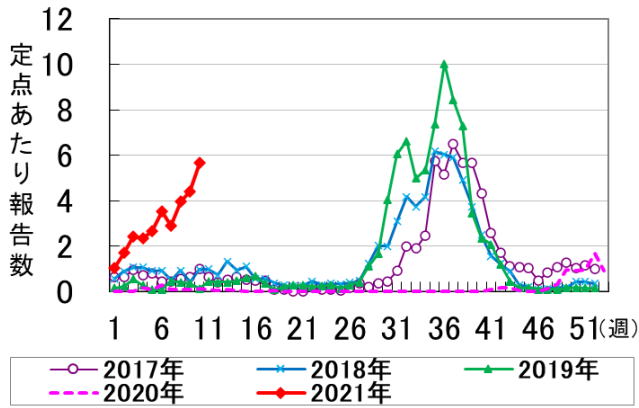
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

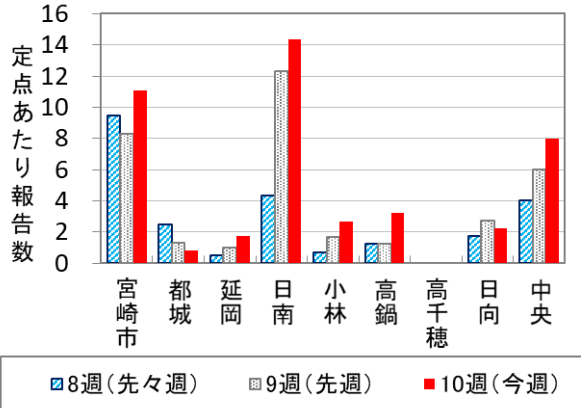


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

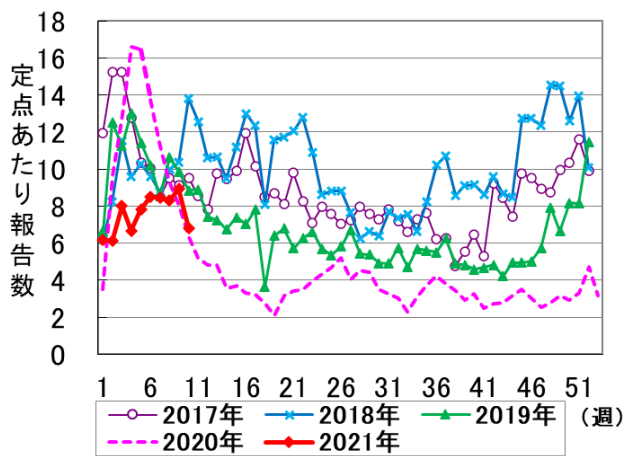
RSウイルス感染症 発生状況



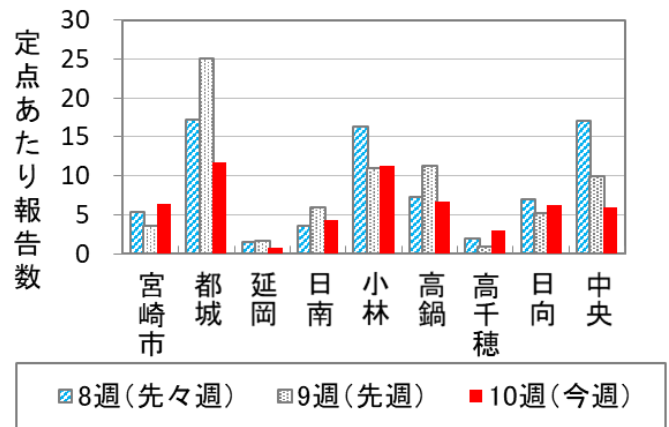
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

※流行注意報レベル基準値※
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年3月15日までに検出）

★細菌 報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2020.10.09	無菌性髄膜炎、38.6℃	髄液	2021.03.11
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	女	2020.11.10	エコーウイルス、39.2℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2021.03.11
ヒトヘルペスウイルス7	0～4歳	女	2020.12.01	ウイルス性発疹疑い、発疹	咽頭ぬぐい液	2021.03.11

🇯🇵 全国 2021 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 9 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	238 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8 例				
4類感染症	E 型肝炎	10 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	22 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	4 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例
	水痘（入院例）	7 例	梅毒	92 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	14 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 1,391 人(0.44)で前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.33)の約 1.3 倍であった。宮崎県(4.4)、長崎県(3.7)、熊本県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 9,246 人(2.9)で前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.4)の約 0.5 倍であった。島根県(12.9)、宮崎県(8.9)、鹿児島県(7.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2021年2月>

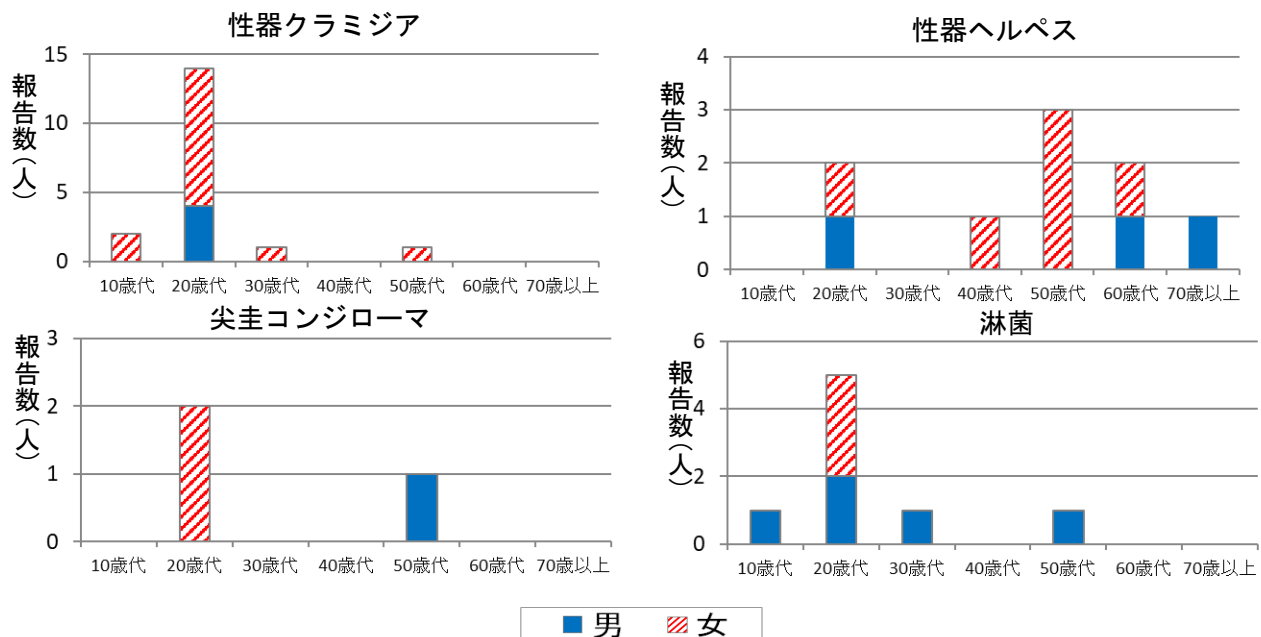
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比84%と減少した。また、昨年2月(2.3)の127%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人(1.4)で、前月の約0.8倍、昨年2月と同率であった。
20歳代が全体の約8割を占めた。(男性4人・女性14人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の0.9倍、昨年2月の1.5倍であった。
(男性3人、女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年2月の3.0倍であった。
(男性1人、女性2人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月の約0.7倍、昨年2月の1.6倍であった。
(男性5人、女性3人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,044人(4.1)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,290人(2.3)で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症631人(0.64)で前月比88%、尖圭コンジローマ411人(0.42)で前月比93%、淋菌感染症712人(0.73)で前月比86%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比80%と減少した。また、昨年2月(2.1)の107%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の0.8倍、昨年2月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,215(2.6)で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,166人(2.4)で前月比90%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症46人(0.10)で前月比111%、薬剤耐性緑膿菌感染症3人(0.01)で前月比と同率であった。

疾病名		第9週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	159	204	111	5	7	43	8	13		9	8
	定点当り	4.42	5.67	11.10	0.83	1.75	14.33	2.67	3.25	0.00	2.25	8.00
咽頭結膜熱	報告数	12	12	5	3		4					
	定点当り	0.33	0.33	0.50	0.50	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	48	50	7	4	19	15		2		2	1
	定点当り	1.33	1.39	0.70	0.67	4.75	5.00	0.00	0.50	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	321	245	64	70	3	13	34	27	3	25	6
	定点当り	8.92	6.81	6.40	11.67	0.75	4.33	11.33	6.75	3.00	6.25	6.00
水痘	報告数	6	2		1							1
	定点当り	0.17	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	2	2	1			1					
	定点当り	0.06	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	20	5	5	5		1	1		2	1
	定点当り	0.64	0.56	0.50	0.83	1.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	4	4								
	定点当り	0.50	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～10週)

2類感染症	結核	27例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	梅毒	15例(1)	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	1074例		

()内は今週届出分、再掲